

オシドリ、金持
神社、たたらに続け！
新たな観光の目玉
それは…

テラスにもいる♪

「福よせ雛」プロジェクト始動!

金持テラスひの NEWS



最近、町内のあちこちで目にするのが多くなった「ひな人形」。実は、「日野町をおひな様のまち」にしようという壮大なプロジェクトが始まろうとしているんです。



町内有志が発案。“おひな様に会えるまちに” ＜伯耆の国・出雲街道根雨宿「福よせ雛」プロジェクト＞

金持テラスひのや日野町役場、根雨郵便局などに昨年秋から季節外れのおひな様がいることにお気づきでしょうか？

これは全国の役目を終えたおひな様たちに日野町へ移住・定住してもらおうという、名づけて「伯耆の国・出雲街道根雨宿『福よせ雛』プロジェクト」です。

「福よせ雛」は、東海地方を中心に季節イベントとして行われています。おひな様をただ飾るのではなく、スマートフォンを持ったり、掃除をしたりと、見た人が思わず笑ってしまう展示をし、その笑顔で福を呼び寄せるといったのがコンセプト。

日野町でもこのイベントを知った有志のみなさんが実行委員会を立ち上げ、

「季節限定ではなく1年中展示をしよう」「おひな様の寄贈者には『ふるさと住民票』を発行して日野町ファンになってもらおう」「おひな様には『おひな様住民票』を発行しよう」とさまざまなアイデアの下、プロジェクトが始まりました。

「人口より牛が多い」というアピールをしている酪農の盛んな町がありますが、このプロジェクトでは「人口より移住してきたおひな様が多い」ことを目指しています。

「おひな様でにぎわう町」「暮らしているおひな様に年中出会える町」。金持神社、オシドリ、たたら製鉄に続く観光資源として、「伯耆の国・出雲街道根雨宿『福よせ雛』プロジェクト」が始まっています！



さて、2月はどんなおひな様を登場させましょうか…

季節限定バージョンとして10月はハロウィン雛、12月はサンタ雛&トナカイ雛、年末には餅つき雛、1月は正月雛。オシドリを観察しているおひな様もいます。

テラス×おひな様
季節限定バージョンも
金持テラスひのでもおひな様たちが暮らしています。

KAMOCHI BASE

さねしげコーディネーターの活動をチャットでお届けします。



賑わいづくりコーディネーター
実繁 浩一 (さねしげ ひろかず)



Twitter
アカウント
https://twitter.com/kamochi_terrace



Instagram
アカウント
https://www.instagram.com/kamochi_terrace_hino/



Facebook
アカウント
<https://www.facebook.com/kamochiterrace/>

最新情報は
こちらで
CHECK!

読んでみたらんかな～

職員が勝手に
スヌメリ1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?



『やまとゆきはら（大和雪原）』 ～白瀬南極探検隊～

関屋敏隆 さく / 福音館書店 / 日本傑作絵本シリーズ

私がおすすめる1冊は、絵本作家の関屋敏隆さん作の「やまとゆきはら（大和雪原）～白瀬南極探検隊～」です。これは、およそ100年前に南極を探検した探検家の白瀬のぶを隊長とする南極探検隊「しらせ」のことを描いた素敵な絵本です。

1910（明治43）年11月に船員18人と探検隊員9人、そしてカラフト犬29頭を乗せた南極観測船「しらせ」が、約1年7カ月かけて南極に到達し帰港するまでの壮絶な日々が臨場感溢れるタッチで描かれています。

作者の関屋敏隆先生とは、今年度北海道稚内の地で開催された「第51回全国ホタル研究会北海道稚内・豊富大会」の際に初めてお会いしました。この大会のチラシ・ポスターなどを作成された著名な絵本作家と知り、短い時間でしたが直接お話を伺うことができました。

日野町の図書館には、この「やまとゆきはら」のほかにも関屋敏隆先生作の絵本が10冊以上もそろえてあります。また、先般関屋敏隆先生にお手紙をさし上げたところ、丁寧なご返事とともに、12月12日刊行予定の「南極点到達50周年記念絵本『南極点～夢に挑みつづけた男（村山雅美／ポプラ社）』の宣伝用チラシと一緒に送付していただきました。この本は、1968年、日本の南極観測隊としては初めて南極点にたどりついた、村山雅美隊長をはじめ、ただひたすら夢に挑み続けた男達の姿を『型染版画』という技法で仕上げた美しい絵本です。ぜひ手にとってご覧下さい。

この本を紹介してくれたのは…

日野町公民館

かんば けんいち
神庭 賢一 館長



私は、昨年4月から日野町公民館長として働いています。公民館では、さまざまな公民館学習を担当しています。例えば、日野町の豊かな自然を活用した観察会などです。

今年度は、日野川で美しい光を放つゲンジボタルの観察会や世界一小さなトンボの一つであるハッチョウトンボの観察会、夏の夜空いっぱいに広がる星空観察会、秋の味覚のキノコ鑑定会などなどです。

これからも生涯学習の拠点として、町民の皆さんとともに歩いていける公民館を目指して取り組んでいきたいと思っております。

INFORMATION! / 町公民館からのお知らせ

超貴重！「しらせ」が持ち帰った
“南極の石、が見られるんです！”

町公民館の2階にある作品展示ケースの中には、『第27次南極観測砕氷艦「しらせ」』の乗組員であった黒坂出身の長内信好さん寄贈の「南極の石」が展示されています。町公民館にお越しの際にはぜひご覧ください。

